

2015年度 後期				リフレクションペーパー			
学科名	電気通信工学科						
科目名	応用数学Ⅱ						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	2年後期		
必修・選択の別	選択科目(組込みシステムコース)・選択科目(電気エネルギーコース)・選択科目(情報システムコース)						
担当者	中野 吉正						
授業の到達目標 (シラバスから)	・与えられた関数が正則であるかどうかを判定する。 ・関数の特異点における留数を計算する。 ・留数の方法で定積分を計算する。 ・基本的な関数のラプラス変換を求める。 ・ラプラス変換を用いて2階の線形微分方程式を解く。						
日程と内容	9月17日 導入、複素関数の正則性 9月24日 種々の複素関数 10月 1日 解析接続、調和関数と等角写像 10月 8日 コーシーの積分定理 10月15日 コーシーの積分定理の応用 10月22日 コーシーの積分公式とその応用 10月29日 留数定理とその応用 11月12日 フーリエ級数 11月19日 フーリエ変換 11月26日 フーリエ変換の応用 12月 3日 ラプラス変換(1) 12月10日 ラプラス変換(2) 12月17日 ラプラス変換の応用 12月24日 総合復習 1月14日 定期試験(1) 1月21日 定期試験(2)						
成績評価基準	臨時試験 報告書・レポート 課題 演習	60% 40%	実技 部外評価 プレゼンテーション 計	100%			
授業到達目標の達成度	到達目標は授業をとおしてすべてカバーすることができた。また、学生の到達度は、課題と定期試験によって確認できた。						
反省点	授業内容は高度であるとシラバスに予告していたが、昨年度までにくらべて受講生がかなり多かった。さらに、大部分の学生が最後まであきらめずに出席してくれた。ただし、一部の学生には講義内容がほとんど理解できなかったはずである。これらの学生には、1年次の数学を最初から勉強しなおしてもらい以外に方法はないので、残念ながらにも対応できなかった。						
来年度の計画	担当者変更						
授業評価アンケートに対するコメント	試験の結果から判断するかぎり講義内容が十分に理解されたとは言えないが、電気回路の問題をいくつか例題であつかったので科目の重要性は認識されたようである。						
履修登録者数	36 名	定期試験 受験者数	33 名	合格者数	22 名	合格率	67%